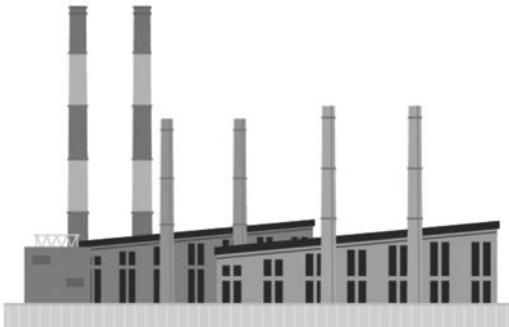


IV. 令和5年度後期 岸和田サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英語表記)	日本経済史 (Japanese Economic History)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	長廣 利崇		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院科目
実施日・時間	第1回：10月14日(土) 13:00～17:00	第3回：11月18日(土) 13:00～17:00	
	第2回：10月21日(土) 13:00～17:00		
<p>【授業の概要・ねらい】</p> <p>この講義では、江戸時代から高度経済成長期までの日本経済の成長(マイナス成長も含める)を検討する。現在の日本経済の歩みを知るためには長期にわたる経済の成長を知る必要がある。日本の経済成長が始まったとされる江戸時代後期から高度経済成長に至るまでの日本経済の発展過程を探る。具体的には、経済成長率を様々なデータから確認した上で経済的に説明できるもののみならず、政治や社会的な出来事も検討材料に含める。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回 10月14日(土) 第2回 10月21日(土) 第3回 11月18日(土)</p> <p>日本の経済成長の概観、 日本の工業化、 第一次世界大戦と日本経済、 戦間期の日本経済、 戦時統制、 戦後復興期、 高度経済成長、 歴史からみる日本経済</p>  <p>【到達目標】</p> <p>先行研究を踏まえた上で、日本経済史の通史を説明できること。</p> <p>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</p> <p>日本経済史に関するレジュメの内容(とくに指示された文献に対するコメント・批判点)に基づく。</p> <p>【教科書】</p> <p>なし</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>沢井 実・谷本雅之『日本経済史』有斐閣、2016年。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>課題提出は成績評価の前提とします。大学院での授業ですので、学部レベルの日本経済史を理解していることを前提とします。</p> <p>【履修する上で必要な事項】</p> <p>積極的なコメントの提示を求める。日本史の知識を熟知していることが望ましい。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>参考書・参考文献を熟読した上で注記されている文献にも目を通すこと。</p> <p>【授業理解を深める方法】</p> <p>学生による発表をともなう学習</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>授業開講時：前期：木曜日・12時20分～13時10分、後期：木曜日・12時20分～13時10分 訪 問 先：長廣研究室</p>			